

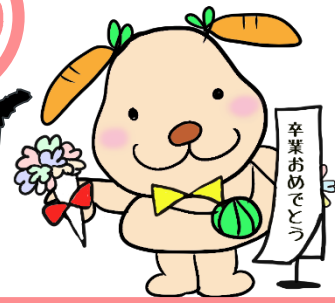


NEWS Letter

Vol.20

とみさと市民活動サポートセンター

令和3年3月発行



とみさと市民活動サポートセンターは「協働のまちづくり」の拠点としてオープンして3月1日で5年を迎えました。

「住み良い豊かな地域」を実現するために、市民活動の相談、団体同士の交流、団体の活動を充実させるスキルアップ講座の実施等、多岐にわたりサポートを行っています。

市民、市民活動団体、自治会、事業所、行政など、それぞれがつながることによって協働のカタチが徐々に浸透し成果も現れてきています。しかし、協働という言葉そのものが市民に知られていない、市民活動団体の多くは後継者などの担い手不足、活動資金の調達といった課題も見えてきました。

どうしたら住み良いまちになるのか？

どうしたら住み続けたいと思うまちづくりができるのか？

これからも皆様の声に耳を傾け、地域の課題を把握し、共に進んでいけるよう協働のまちづくりのサポートをしてまいります。

まちづくりコーディネーター 一同



「ずっと住み続けたい」 と思えるまちづくりのために

地縁団体・市民活動団体・事業者、
そして市民の中と出会い、声をひろい、協働のまちづくりのヒントをみつけます。

お互いの「強み」や「得意分野」で知恵や力を出し合い、ネットワークをつくって課題解決にむかえるように繋いでいきます。

集める つなぐ
これからの5年
サポートセンターは
育てる 伝える

団体のスキルアップのため、また市民活動へ市民の関心を高めるために、効果的な講座やセミナーを企画・実施していきます。

ニュースレター、フェイスブック、インスタグラム等で、市内外の情報や動きを集め、新たなつながりができるように発信していきます。

暮らしやすいまちづくりのために
みんなが課題に向かい手をつないでいくためのサポートをしていきます。



事業者

住民
勤労者

ボランティア
市民活動団体

- ・子どもの通学路が狭くて心配・・・
- ・病院に行きたいけどバスの便が...
- ・日本に来たばかりで日本語がわからない・・・
- ・農業の後継者がいない・・・
- ・車の運転ができなくなったら・・・

自治会・まち協
などの地縁団体

行政・関係機関
社協・学校など

令和2年度とみさと市民活動フェスタ

～新しいカタチ～



来場者から団体への
メッセージ

出会ってつながるまちづくりの祭典「とみさと市民活動フェスタ」は、コロナ禍の中、新しいカタチで開催されました。

参加20団体を4期間に分けて活動の様子を展示で紹介したり、参加10団体の活動PR動画をFacebookで発信したり、コロナ禍でもできることに挑戦しました。参加した団体からは「分散したほうが、ゆっくりと他の団体の展示が見られるね。」「PR動画いいね～。今度はもっと動きをつけようかな。」などの声が聞かれ、新しいカタチは概ね好評でした。来場者からは「こんな素晴らしい活動をしている団体がいるんだね。」「活動に興味を持ったので連絡先を教えてください。」という言葉も聞かれ、市民活動を身近に感じる機会になりました。

初の試みのオンラインによる団体交流会は、コロナ禍での活動の苦労や組織課題について活発な意見交換があり、柔軟な考え方や取組、発想の転換が大事なことに気づきました。

また、団体が求めている支援や提供できる支援（もとむくんゆずるくん）を貼り出したところ、来場者から2件の問合せがあり、団体支援に結びつきました。

今までにないカタチで開催したことで、市民、市民活動団体、地縁団体、事業者、市が協働のまちづくりに向かえる多くの気づきや収穫を得ることができました。



市民活動の展示と来場者



団体から寄せられた
求めている支援・提供できる支援



富里高校美術部の作品
富里愛がいっぱい！

ゼロから始める市民活動スタートアップ講座 とみさと協働塾

令和2年10月～11月 全4回

講師に、清水洋行氏（千葉大学大学院人文科学研究科教授）を迎え、若い世代を中心とした9名の参加者が集まった今年度の協働塾。「市民活動とは？」「活動に必要なことは？」などを学び、実際に活動を初めてみることを目的としました。①市民活動をイメージしてみる ②自分のやりたいことを整理する ③活動するポイントを知る ④活動のプランを立ててみよう！のテーマを元に、活気ある意見交換や企画づくりが行われました。

併せて、まちづくりサポーターに登録された受講者と、今後も意見交換や事業においてパートナーシップを築いていきます。

ミニセミナー

第2回：目を引く！気を引く！伝わるチラシ作りのコツ
第3回：会議に見える化！グラフィック・レコーディング

市民活動団体のスキルアップを目的に開催しているミニセミナーの第2回（令和2年11月14日）、第3回（令和2年12月5日）を開催しました。

「伝わるチラシ作りのコツ」では、会員を増やしたい、イベントの参加者を増やしたいなど、目的にあったチラシ作りについて学びました。

「会議に見える化！グラフィック・レコーディング」では、図やイラスト、短い文を使い、話している内容をその場で板書する技法を学びました。

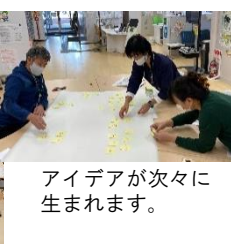
参加者からは「これまで気が付かなかった点を見直すことができた。」「イラストや記号を効果的に使えば、全体像が一目でわかりやすくなることがわかった」などの声が聞かれました。



ワークの時間が足りないほどの盛り上がり！



新しい出会い！



アイデアが次々に生まれます。



色々なチラシを参考に



イラストを練習中

地域のために小さな寄附から～ちい寄附～

【ちい寄附って?】

「ちい寄附」は、寄附をすることで気軽に公益的な活動を応援でき、まちづくりに参加できる仕組みです。市内の賛同店舗では「寄附箱の設置」や「ちい寄附メニューの提供」を実施しています。寄附金と、ちい寄附メニュー対象商品購入額の一部が市の「ふるさと応援基金」に寄付され、市民活動支援補助金採択事業の原資として活用されます。

食べて
飲んで
応援しよう!

賛同店舗募集中!

【現在の賛同店舗】

- ・メニュー店 6店
- ・寄附箱設置店 20店

【寄附金は何に使うの?】

市内の市民活動団体の活動への補助金として使われます。

令和2年度採択事業

- ・富里の歴史を映し、希望を映すドローン撮影事業
- ・コミュニティカーシェアリング事業を実施するための調査研究事業

賛同店舗の詳細は
QRコードより
ご覧いただけます。



ブースの利用について

サポートセンター内にある市民活動ブースは、登録団体は無料で使用できます。予約は月2回まで可能です。詳細はお問い合わせください。

開所時間のご案内

- ◎ 午前9時～午後5時
- ※土曜日もご使用いただけます
- ※金曜日のみ、ご予約いただければ午後9時まで使用可

休所日

- ◎ 毎週水曜日・日曜日・祝日
- 8/13～15・年末年始(12/29～1/3)

<連絡先>とみさと市民活動サポートセンター
〒286-0292 千葉県富里市七栄652番地1
(富里市役所敷地内 すこやかセンター1階)

- TEL/FAX : 0476-93-4123
- E-mail : tomisapo@bz04.plala.or.jp
- Facebook 「とみさと市民活動サポートセンター」



編集後記：❀弥生3月桜の季節❀
今年のお花見～私の場合～
その1：車の中から眺める(脇見運転ダメです)
その2：スマホ片手に、全国各地の桜の名所の写真を眺める。もう片方には缶酎ハイ!
(さときょん)

次回は令和3年6月予定 (年4回発行)

発行部数：2200部 配布先：市内公共施設他



富里の魅力発信中! とみさぽInstagram



富里で見つけたあなたの“いいね”を教えてください。四季折々の風景や珍しい草花、まちの人気者や自慢のお宝などなど「#富里いいね」を付けて投稿してください。

あなたの“いいね”からみんなの“いいね”へ
現在のフォロワー数：202人 (3月1日 現在)



好評発信中! とみさぽFacebookページ



皆さんにもっと市民活動を知ってもらいたい、一緒にまちづくりを盛り上げてもらいたいという想いを込めて、フェイスブックを通じて市民活動の紹介や、市内で行われる催しなど、身近な情報を盛りだくさんの内容で発信中です! 右上のQRコードを読み取るとすぐに関覧できます。

現在のフォロワー数：545人 (3月1日 現在)

「とみさぽ Facebook」

検索



登録しませんか? とみさぽメールマガジン

サポートセンターから毎月1回「メールマガジン」の配信をしています。助成金情報やセンター主催のセミナー、近隣市町村でのセミナー等、団体向けの情報を配信しています。配信を希望する方は、メールアドレスの登録をお願いします。1団体何人でも登録できます。詳しくは、サポートセンターへお問合せください。